関市農業委員会総会議事録

場所：関市役所 大会議室

○議事日程

平成26年9月5日（金曜日）午前10時00分 開議

- (1) 議事録署名委員の指名
- (2) 議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について
- (3) 議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請に対する意見について
- (4) 議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について
- (5) 議案第4号 事業計画変更申請に対する意見について
- (6) 議案第5号 農地の買受適格証明に対する意見について
- (7) 議案第6号 農用地利用集積計画の承認について
- (8) 議案第7号 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的構想の変更について
- (9) 議案第8号 関市平賀第二土地区画整理組合設立に伴う事業計画について
- (10) 報告第1号 農地法第18条第6項の規定による届出について

○出席委員（35名）

1番 早川 英雄 君	2番 早川 誠一 君	3番 佐藤 久雄 君
4番 早川 清治 君	5番 石原記念男 君	6番 佐藤 善一 君
8番 兼村 正美 君	9番 石木 治男 君	10番 後藤 利彦 君
11番 大澤 慶一 君	12番 八木 豊明 君	13番 杉山 徳成 君
14番 村井 由和 君	15番 山田 晴重 君	16番 亀山 浩 君
17番 安田 孝義 君	18番 篠田 泰道 君	19番 横井 文雄 君
20番 中島 利彦 君	21番 増井 賢一 君	22番 加藤政比古 君
23番 土屋 尊史 君	24番 神山 博和 君	25番 野村 茂 君
26番 長屋 芳成 君	27番 日置 香 君	28番 藤川 勝 君
29番 相宮 千秋 君	30番 永井 博光 君	31番 岡田 忠敏 君
32番 伊佐地鐵夫 君	33番 川村 信子 君	34番 漆畑 和子 君
35番 岩田 幸子 君	36番 後藤 信一 君	

○欠席委員（1名）

7番 清水 宗夫 君

○委員以外の出席者

経済部長	坂井 一弘 君	農業委員会事務局長	玉田 和久 君
農業委員会事務局課長補佐	長尾 成広 君	農業委員会事務局主任主査	田口 旭 君
都市整備課課長補佐	山田 達史 君	都市整備課主任主査	山田 隆司 君
洞戸事務所 係長	古田 考幸 君	板取事務所 係長	長屋 守世 君
武芸川事務所 主査	松井 信弘 君	武儀事務所 課長補佐	川島 友教 君
上之保事務所 係長	森 太桂弘 君		

午前10時00分 開会

○事務局課長補佐（長尾成広君） それでは、これから農業委員会総会を始めさせていただきます。まず、市民憲章のご唱和をお願いします。ご起立ください。

（市民憲章を唱和）

ありがとうございました。ご着席ください。それでは、はじめに佐藤善一会長からご挨拶をお願いします。

○議長（佐藤善一君） 実りの秋になってきますが、天候が不順で作業もなかなか捗らないのが現状です。そのような中におきまして9月の総会に出席していただきありがとうございます。先般8月28日に県農業会議の総会がございましてその席上で関市農業委員会が担い手育成部門で表彰を頂きました。前年度から婚活委員会を立ち上げられまして3回のイベントを開催したことを評価されまして、高山市、飛騨市、関市が壇上にて表彰されました。1年間元気に、他市の農業委員に恥じないようにご活躍をお願いしたいと思ひ挨拶の中でふれさせていただきました。本日も有意義に会がすすみますようご協力をお願いします。

○事務局課長補佐（長尾成広君） それでは経済部長からご挨拶をお願いします。

○経済部長（坂井一弘君） 今日はお忙しい中ご出席していただき誠にありがとうございます。最近はずっと台風や豪雨が続いて天気も悪く、この長雨について危惧しているところです。先日、名古屋地方気象台が発表された県内の日照率についてですが、例年に比べると48%減少しているそうです。観測史上、一番低い記録だそうです。色々な作物にも影響を及ぼしていると思われます。特に野菜の高騰が危惧され、白菜1玉が卸値で700円、レタスが300円弱ということで例年になく高い数値になっております。農家の皆様にはこれから忙しい時期をむかえることとなりますがよろしくをお願いします。

○議長（佐藤善一君） ただ今から、関市農業委員会総会を開催します。本日は、7番清水宗夫委員が欠席ですが、会議規則第8条により委員の過半数の出席により総会が成立しました。

次に、議事録署名委員の指名を行います。

5番 石原記念男委員、8番 兼村正美委員のお二人をお願いします。

これより、議案の審議に入ります。

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 議案第1号農地法第3条の規定による許可申請について、説明させていただきます。

農地法第3条の規定により、下記農地の申請があったので、審議を求めます。

議案は1ページからになります。

1番の案件は位置図が1ページになります。

賃貸借権の設定で申請地は肥田瀬地内、新富津橋の北西380mほどに位置する農振農用地である田3筆、1851㎡です。

賃借人は、申請地を解除条件付きで借り受け、農業経営の拡大を図りたいというもの。賃借人は、県外に居住しており農業経営が困難なため、賃借人の申し出に応じるというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、田で農地性有りと確認しています。

賃貸借の期間は、許可日から5年としています。

この解除条件付きの賃貸借については、平成21年の農地法改正以前は、農地の権利取得が認め

られていませんでしたが、同改正により、農業生産法人以外の法人でも、農地を解除条件付きで借りる場合に限り、権利取得できるようになっています。また、解除条件付きで借りられた方が、適正に農地を利用されない場合には、許可を取り消すなどの担保措置が設けられています。

2番の案件は位置図が2、3ページになります。

所有権移転で申請地は、広見地内、武芸川浄化センターの東80mほどなどに位置する農振農用地である田3筆、1,246㎡です。

譲受人は、譲渡人である父より、申請地を譲り受け、農業経営の拡大を図りたいというもの。譲渡人は、高齢により農業経営が困難のため、息子である譲受人の申し出に応じ無償にて譲り渡す(贈与する)というものです。

8月18日に現地確認をしたところ、農地性有り確認しています。

最後に、3番の案件は位置図が4ページになります。

所有権移転で申請地は、武芸川町跡部地内、道の駅武芸川の南西420mほどに位置する農振農用地である田、1132㎡です。

譲受人は、第一種及び第二種社会福祉事業を営んでおり、申請地を譲り受け、運営する特別養護老人ホーム、ケアハウス、老人デイサービスセンター、ショートステイの利用者を対象に、自ら農作業を通じて自立した生活を支援する施設として利用したいというもの。譲渡人は、県外に居住しており、農業経営が困難なため、譲受人の申し出に応じて譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、畑で農地性有り確認しています。

この社会福祉法人の権利取得については、学校法人、医療法人、社会福祉法人その他の営利目的としない法人がその権利を取得しようとする農地等を当該目的に係る業務の運営に必要な施設の用に供すると認められる場合には、許可することができると農地法にありますので、農業生産法人でもなく、解除条件付きでもなく、権利取得ができることとなります。

以上、所有権移転に関するもの2件、賃貸借権に関するもの1件、農地法第3条第2項各号に該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。よろしくご審議をお願いいたします。

○議長(佐藤善一君) 事務局の説明が終わりましたので、担当委員の意見をお聞きします。

○2番(早川誠一君) 1番について異議ありませんが、将来農業をこのまま拡大していきたい意向があるようで、今後どのように関わっていったらよいか疑問です。現在、農業生産法人にしたいという思いはあるが手続きは何もしていないそうです。

○事務局長(玉田和久君) 別会社をつくって農業生産法人にするのか、会社の意向を伺おうと思います。ただ、現在の会社の住所地が富加町ですので直接指導はできません。今後、新しい会社を関市につくるようでしたらまた対処していきたいと考えます。

○14番(村井由和君) 2番について異議ありません。

○30番(永井博光君) 3番について異議ありません。

○議長(佐藤善一君) これより質疑を行います。質疑のある方はございますか。

(「なし」の声あり)

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第1号について、原案のとおり許可することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

それでは、議案第1号の3件を原案のとおり許可することといたします。

次に、議案第2号農地法第4条の規定による許可申請に対する意見についてを議題といたしま

す。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） それでは、農地法第4条の規定により、下記農地の申請がありましたので、意見を求めます。

農地法第4条の規定により、下記農地の申請があったので、意見を求めます。

議案は2ページになります。

1番の案件は位置図が5ページになります。

申請地は、西本郷通2丁目地内、中濃公設地方卸売市場の南200mほどに位置する田、240㎡です。

申請人は、農業経営が困難であったところ、申請地の周辺の宅地化が進み、駐車場需要が増えると考え、申請地を自己転用し貸駐車場として整備したいというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

2番の案件は位置図が6ページになります。

申請地は、下有知地内、下有知南部公民センターの南380mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が宅地2筆、111㎡です。

申請人は、申請地の北側に居住しているが、農業経営が困難になってきたため、申請地を譲り受け、庭及び住宅として利用したいというもの。8月18日に現地確認をしたところ、宅地であったため、始末書の添付があります。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

最後に3番の案件は位置図が7ページになります。

申請地は、小瀬地内、瀬尻小学校の北東460mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が宅地462㎡です。

申請人は、申請地の北側にて鉄工所を営んでいるが、資材置場等が不足しているため、申請地を譲り受け資材置場・倉庫を整備したいというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、宅地であったため、始末書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

参考にですが、農地転用後の課税については、転用の許可がおりますと、植林や一時転用以外の目的である住宅敷地、駐車場用地、倉庫、太陽光施設などで許可を取られた場合で、許可された年の12月末までに、本来の目的を達成されないと宅地並み課税になります。

たとえば申請地が畑であり、住宅建設目的で農地転用の許可を受け、資金計画がうまくいかず、そのまま畑にされたままでは、次の年から、宅地介在畑になります。畑ですと通常㎡あたり、50円から100円の評価がされる場所、宅地では1000円から地域によっては5万の評価がつき、評価地目が宅地介在田畑になりますとその宅地評価の半分になり、100倍から5万倍になります。

たまに、現況が農地なのに、なぜこんなに高い税金を払わなければならないのかと税務課や農業委員会へ確認にみえますが、この状態を改善していただくには、許可を取り消されるか、許可書のとおり目的を達成していただくかになりますので、このようなしくみが理由となりますので参考に紹介させていただきます。

以上3件について、ご審議をお願いします。

○議長（佐藤善一君） 事務局の説明が終わりましたので、担当委員の意見をお聞きします。

- 8 番（兼村正美君） 1 番について異議ありません。
- 1 1 番（大澤慶一君） 2 番について異議ありません。
- 1 3 番（杉山徳成君） 3 番について異議ありません。
- 議長（佐藤善一君） これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。
（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第 2 号について、原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

それでは、議案第 2 号の 3 件を原案のとおり岐阜県知事に進達することといたします。

次に、議案第 3 号 農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君）農地法第 5 条の規定により、下記農地の申請がありましたので、意見を求めます。

議案は 3 ページからになります。

1 番の案件は位置図が 8 ページになります。

所有権移転で申請地は北天神 1 丁目地内、関市桜ヶ丘公民センターの北 1 6 0 m ほどに位置する田 2 筆、4 2 8 m²です。

譲受人は、申請地の南隣にて刃物卸業を営んでおり、駐車場が手狭になってきたため、申請地を譲り受け、従業員及び来客者駐車場として整備したいというもの。譲渡人は、遠方に居住しており、農業経営が困難であったところ、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8 月 1 8 日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第 3 種農地と判断します。

2 番の案件は位置図が 9 ページになります。

所有権移転で申請地は迫間地内、上迫間公民館の西南西 5 4 0 m ほどに位置する登記地目が宅地、現況地目が畑 3 筆、5 2 8 . 1 8 m²です。

譲受人は、建築土木業等を営んでおり、申請地が太陽光発電に適した土地と考え、申請地を譲り受け、太陽光発電設備設置用地として整備したいというものです。なお、本年 6 月 2 6 日の総会にて、農地転用 5 条申請が隣接地であり、登記地目が宅地、現況地目が農地の場合には、申請不要と申請者が勘違いしてみえたため、今回その申請漏れとして、申請していただいています。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8 月 1 8 日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦している区域に近接する 1 0 ha 未満の農地のため、第 2 種農地と判断します。

3 番の案件は位置図が 1 0 ページになります。

所有権移転で申請地は志津野地内、東海環状自動車道富加関インターチェンジの北 4 5 0 m ほどに位置する登記地目が田、現況地目が雑種地、6 6 7 m²です。

譲受人は、市内で特別養護老人ホームや知的障がい者授産施設を営むとともに、市外では保育園、幼稚園を経営しており、今回競売で落札した申請地を譲り受け、譲受人の経営する社会福祉法人に貸資材置場として整備し貸与したいというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、雑種地と確認しています。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦している区域に近接する10ha未満の農地のため、第2種農地と判断します。

農地の区分は、2種農地以外の農地に該当しないため、第2種農地と判断します。

このように競売により落札され、5条又は3条で所有権を取得される場合には、事前に農業委員会の総会にて、買受適格証明書の許可を得て、申請してみえます。ちなみに、本件は、26年1月の総会で審査してあります。

4番の案件は位置図が11ページになります。

所有権移転で申請地は神明町4丁目地内、稲口グラウンドの北110mほどに位置する畑、191㎡です。

譲受人は、現在賃貸住宅に居住しており、家族が増え手狭になってきたため、申請地を譲り受け、自己用の住宅を建築したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

5番の案件は位置図が12ページになります。

賃貸借権の設定で申請地は、稲口地内、国道248号線稲口インターチェンジの北東120mほどに位置する登記地目が田、現況地目が雑種地、256㎡です。

賃借人は、自動車販売業を営んでおり、営業所の敷地が手狭になってきたため、申請地を借り受け、車庫・展示場を整備したいというもの。賃貸人は、土地の有効利用をはかるとともに、安定した収入を確保するため、賃借人の申し出に応じるというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、雑種地であったため、始末書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦している区域に近接する10ha未満の農地のため、第2種農地と判断します。

賃貸借の期間は、許可日から10年間としています。

6番の案件は位置図が13ページになります。

所有権移転で申請地は、西本郷地内、中濃厚生病院の北に位置する農振農用地である田7筆、6835㎡です。

譲受人は、厚生連であり、申請地を譲り受け、中濃病院が救命救急センターの東側に6階建ての病床を増築（ベッド数112）するのに伴い、医師、看護師、患者の増加や、駐車場を削って建設することにより、駐車場の不足が予想されるため、平成21年に本館北東に造成した駐車場と併せて駐車場の整備をしたいというもの。この中濃病院駐車場整備事業につきましては、県知事より先月8月8日に、収用法第26条の医療法による公的医療機関としての事業認定の告示がなされているため、農振農用地の除外手続きについては、軽微な変更でしかも事後許可でも可となっています。また、都市計画法29条の開発許可申請につきましては、すでに市県と協議は済んでおり、農地転用の許可待ちとのことですので補足させていただきます。

譲渡人は、譲受人の申し出に応じて譲り渡すというものです。

8月19日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、農振農用地です。

7番の案件は位置図が14ページになります。

所有権移転で申請地は、西本郷通2丁目地内、中濃公設地方卸売市場の南200mほどに位置する田、248㎡です。

譲受人は、申請地の西隣に居住しており、駐車場が手狭になってきたため、申請地を譲り受け、駐車場を整備したいというもの。譲渡人は、遠方に居住しており農業経営が困難なため、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、田で農地性がありました。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

8番の案件は位置図が15ページになります。

所有権移転で申請地は、西本郷通6丁目地内、西本郷公園の北東230mほどに位置する田、423㎡です。

譲受人は、現在二世帯で居住しており家族が増え手狭になってきたため、申請地を譲り受け、自己用の住宅を建築したいというもの。譲渡人は、高齢により農業経営が困難になってきたため、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、田で農地性がありました。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

9番の案件は位置図が16ページになります。

所有権移転で申請地は、上利町地内、安桜小学校の西北西280mほどに位置する畑、36㎡です。

譲受人は、現在申請地の東隣に居住しているが、長男夫婦と同居することになり住居が手狭になるため、申請地を譲り受け、自己用の住宅を建築したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、畑で農地性がありました。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

10番の案件は位置図が17ページになります。

所有権移転で申請地は、倉知地内、国道248号関バイパス倉知西交差点の南西300mほどに位置する登記地目が田、現況地目が宅地、141㎡です。

譲受人は、申請地の南側で学生向けアパートを所有しており、申請地の北側の譲受人の会社敷地とそのアパートとの通路が必要なため、申請地を譲り受け、駐車場への進入路として整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、宅地であったため始末書の添付があります。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

11番の案件は位置図が18ページになります。

所有権移転は申請地が、倉知地内、国道248号関バイパス倉知西交差点の南西300mほどに位置する登記地目が田、現況地目が雑種地、373㎡です。

譲受人は、10番の譲受人と同じ事業者であり土木建設工事業を営んでおり、申請地の北側の譲受人の会社敷地に隣接する申請地を譲り受け、建設工事車両等の駐車場として整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、雑種地であったため始末書の添付があります。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

12番の案件は位置図が19ページになります。

所有権移転で申請地は、下有知地内、下有知南部公民センターの北東250mほどに位置する畑、198㎡です。

譲受人は、現在住んでいる住宅敷地が手狭になってきたため、申請地を譲り受け、庭として整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

13番の案件は位置図が20ページになります。

所有権移転で申請地は、下有知地内、下有知南部公民センターの北東250mほどに位置する畑、447㎡です。

譲受人は、不動産業を営んでおり、申請地が小学校に近く住宅敷地に適していると考え、申請地を譲り受け、分譲住宅として整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

14番の案件は位置図が21ページになります。

所有権移転で申請地は、下有知地内、下有知南部公民センターの北東250mほどに位置する畑、859㎡です。

譲受人は、不動産業を営んでおり、申請地が小学校に近く住宅敷地に適していると考え、申請地を譲り受け、分譲住宅として整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

事業計画変更許可の1番と同時許可案件になります。

15番の案件は位置図が22ページになります。

賃貸借権の設定で申請地は、下有知地内、関有知高校の南西460mほどに位置する田2筆、1166㎡です。

賃借人は、コンビニエンスストアを営んでおり、申請地の南隣にある宅地でコンビニエンスストアを建築するとともに、申請地を借り受け、コンビニエンスストア駐車場を整備したいというもの。賃貸人は、土地の有効利用をはかるとともに、安定した収入を確保するため、賃借人の申し出に応じるというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、田で農地性有りと確認しています。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

賃貸借の期間は、許可日から20年間としています。

16番の案件は位置図が23ページになります。

所有権移転で申請地は、上白金地内、金竜小学校の北西260mほどに位置する田、1000㎡（実測 995㎡）です。

譲受人は、不動産業を営んでおり、申請地が小学校に近く住宅敷地に適していると考え、申請地を譲り受け、分譲住宅として整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡す

いうものです。

8月18日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、水管、下水管、ガス管のうち二種類以上が整備された道路の沿道で申請地から概ね500m以内に2つ以上の教育施設、医療施設等の公共・公益的施設があるため、第3種農地と判断します。

17番の案件は位置図が24ページになります。

所有権移転で申請地は、上白金地内、金竜小学校の南東260mほどに位置する田、1007㎡のうち621㎡です。

譲受人は、不動産業を営んでおり、申請地が小学校に近く住宅敷地に適していると考え、申請地を譲り受け、分譲住宅として整備したいというもの。譲渡人は、借入金の返済及び生活資金に充当するため、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、水管、下水管、ガス管のうち二種類以上が整備された道路の沿道で申請地から概ね500m以内に2つ以上の教育施設、医療施設等の公共・公益的施設があるため、第3種農地と判断します。

18番の案件は位置図が25ページになります。

使用貸借権の設定で申請地は、上白金地内、上白金公民館の北東140mmほどに位置する田、231㎡です。

使用借人は、現在市外の賃貸住宅に住んでおり手狭になってきたため、使用貸人である義父より申請地を借り受け、自己のための住宅を建築したいというもの。使用貸人は、使用借人である義理の息子の申し出に応じ貸し付けるというものです。

8月18日に現地確認をしたところ田で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、水管、下水管、ガス管のうち二種類以上が整備された道路の沿道で申請地から概ね500m以内に2つ以上の教育施設、医療施設等の公共・公益的施設があるため、第3種農地と判断します。

使用貸借の期間は、許可日から30年間としています。

19番の案件は位置図が26ページになります。

賃貸借権の設定で申請地は、側島地内、保戸島公民センターの南南西120mほどに位置する農振農用地である田4筆、3799㎡です。

賃借人は、砂利採取業を営んでおり、申請地を借り受け、砂、砂利等の採取をしたいというもの。賃貸人は、賃借人の申し出に応じるというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、田で農地性有りと確認しています。

賃貸借の期間は、許可日から1年間としています。

20番の案件は位置図が27ページになります。

賃貸借権の設定で申請地は、側島地内、保戸島公民センターの南西140mほどに位置する農振農用地である田12筆、12058㎡です。

賃借人は、砂利採取業を営んでおり、申請地を借り受け、砂、砂利等の採取をしたいというもの。賃貸人は、賃借人の申し出に応じるというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、田で農地性有りと確認しています。

賃貸借の期間は、許可日から1年間としています。

なお、農業委員の篠田さんにつきましては、申請人・賃貸人でもありますので、後ほどのこの20番の審議の際には、退出していただきます。

21番の案件は位置図が28ページになります。

所有権移転で申請地は、洞戸市場地内、洞戸浄化センターの東170mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が雑種地、951㎡です。

譲受人は、林業を営んでおり、申請地を譲り受け、経営している会社の木材の置場として整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の強い申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、雑種地で始末書の添付があります。

農地の区分は、2種農地以外の農地に該当しないため、第2種農地と判断します。

最後に、22番の案件は位置図が29ページになります。

所有権移転で申請地は、武芸川町谷口地内、桶森公民館の南南西80mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が雑種地一部畑、365㎡です。

譲受人は、現在住んでいる住居が手狭になってきたため、申請地を譲り受け、自己用の住宅を建築したいというもの。譲渡人は、市外に居住し、農業経営が困難なため、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、雑種地であったため、始末書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

以上、所有権移転に関するもの17件、使用貸借権の設定に関するもの1件、賃貸借権の設定に関するもの4件、計22件につきまして、ご審議をお願いいたします。

○ 議長(佐藤善一君) 事務局の説明が終わりましたので、担当委員の意見をお聞きします。先程事務局より説明がありましたとおり20番の案件に、篠田農業委員さんが申請人でいらっしゃいますので最初に審議をし、篠田さんには退席していただきました。

○ 17番(安田孝義君) 20番について異議ありません。

○ 議長(佐藤善一君) これよりこの案件について質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第3号の20番について、原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

議案第3号の20番について原案のとおり岐阜県知事に進達することといたします。それでは篠田さんにはご入室していただきます。

続きまして順に担当委員の意見をお聞きします。

○ 1番(早川英雄君) 1番について異議ありません。

○ 4番(早川清治君) 2番について異議ありません。

○ 議長(佐藤善一君) 3番について異議ありません。4番、5番についてですが、本日欠席の7番清水さんから異議なしと伺っています。

○ 8番(兼村正美君) 6番、7番、8番、9番について異議ありません。

○ 10番(後藤利彦君) 10番、11番について異議ありません。

○ 11番(大澤慶一君) 12番、13番、14番について異議ありません。

○ 12番(八木豊明君) 15番について異議ありません。

- 16番（亀山 浩君） 16番、17番、18番について異議ありません。
- 18番（篠田泰道君） 19番について異議ありません。
- 24番（神山博和君） 21番について異議ありません。
- 28番（藤川 勝君） 22番について異議ありません。
- 議長（佐藤善一君） これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第3号について、原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

それでは、議案第3号の所有権移転に関するもの17件、使用貸借権の設定に関するもの1件、賃貸借権の設定に関するもの4件、計22件を原案のとおり岐阜県知事に進達することといたします。

次に、議案第4号事業計画変更の承認についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 農地転用許可後の事業計画変更申請があったので、意見を求めます。

農地転用許可後の事業計画変更申請がありましたので、意見を求めます。

議案は16ページになります。

1番の案件は位置図が30ページになります。

所有権移転で申請地は、下有知地内、下有知南部公民センターの北東250mほどに位置する畑、131㎡です。

当初事業計画者は、昭和57年9月28日5条許可により、申請地を倉庫及び駐車場用地として整備する予定でありましたが、実行する段階で地形が悪かったため、計画を中止していたというものです。承継者は、不動産業を営んでおり、申請地が小学校に近く住宅敷地に適していると考え、申請地を譲り受け、当初許可地の一部を分筆し、整形地にした後、分譲住宅として整備したいというものです。

8月18日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

なお、5条転用許可申請の14番の案件と同時申請になります。

以上、1件につきまして、ご審議をお願いいたします。

- 議長（佐藤善一君） 事務局の説明が終わりましたので、担当委員の意見をお聞きます。
- 11番（大澤慶一君） 1番について異議ありません。
- 議長（佐藤善一君） これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第4号について、原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

それでは、議案第4号の1件について原案のとおり岐阜県知事に進達することといたします。次に議案第5号買受適格証明についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 民事執行規則第33条の規定に基づき、下記農地の買受適格証明願いがあったので、意見を求めます。

議案は17ページになります。

1 番の案件は位置図が 31 ページになります。

申請地は、武芸川町平地内、武芸川町宝見橋の南南西 900 m ほどに位置する農振農用地である田 2 筆、1448 m²です。

申請人は、競売地を取得して、農業経営の拡大をしたいというものです。

競売の入札期間は、平成 26 年 10 月 7 日から 10 月 14 日までです。

8 月 18 日に現地確認をし、田で農地性ありと確認しております。

以上、1 件につきまして、ご審議をお願いいたします。

○ 議長（佐藤善一君） 事務局の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第 5 号について、原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

それでは、議案第 5 号の 1 件について原案のとおり岐阜県知事に進達することといたします。

次に、議案第 6 号農業経営基盤強化促進法の承認についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 関市長より、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項の規定により、農用地利用集積計画の承認を求められたので、意見を求めます。

議案は 31 ページになります。

賃貸借権の設定に関するもの 14 筆、2 件、使用貸借権の設定に関するものについて 3 筆、2 件、更新 17 筆、新規 1 筆の承認を求められています。

農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の各要件を満たしていると考えます。

地目は、田が 17 筆 18408 m²、畑が 1 筆 310 m²です。

地区は、下白金、肥田瀬、小屋名、広見、武芸川町の 5 地区です。

設定を受ける方は、長谷部梅雄さんほか 1 名です。

以上、農用地利用集積計画の承認につきまして、ご審議をお願いいたします。

○ 議長（深川俊朗君） 事務局の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第 6 号の農用地利用集積計画について、異議のない方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

それでは議案第 6 号農用地利用集積計画について原案のとおり許可することといたします。

次に議案第 7 号農業経営基盤の強化の促進に関する基本的構想の変更についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

○農務課課長補佐（山岡透君）

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」の〈見直し趣旨〉についてご説明します。

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」（以下「基本構想」）は、関市において効率的かつ安定的な農業経営への改善を計画的に進めようとする農業者に対する農用地の集積、経営管理の合理化その他基本的な方向性や指標を示したものでございます。

なお、岐阜県においても「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」（以下「基本方針」）を

定めており、市の基本構想はこれに即した内容とすることが規定されています。また、基本構想の作成については、農業委員会及び関係する農協に意見を聞かなければなりません。

続きまして、基本構想の見直しの経緯についてご説明します。

農業経営基盤強化促進法の改正により県の基本方針が変更され、従来、県知事が就農計画を認定していた認定就農者制度と同様の制度が、農業経営基盤強化促進法に青年等就農計画として位置づけられ、市長が計画認定を行うこととなります。

このことから、市は青年等就農計画の認定要件の指標や考え方を整理し、基本構想を反映させるため見直しをおこないます。

続きまして、基本構想の見直しの概要についてご説明します。

次のとおり基本構想を変更します。

1. 基本構想中の第1 農業経営基盤の強化の促進に関する目標において「新たに農業経営を営もうとする青年等の育成・確保に関する目標」に関する記述を追加します。これは、青年等就農計画に関わる目標でございます。

2. 第2の2 農業経営の規模、生産方式、経営管理の方法、農業従事の態様等に関する営農の類型ごとの新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の指標を新設します。これは青年等就農計画に関する指標でございます。

3. 基本構想中の第3 効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に関する目標その他農用地の利用関係の改善に関する事項において「効率的かつ安定的な農業経営の地域における農用地の利用の集積に関する目標」を見直します。

岐阜県の基本方針の見直しでは、平成25年30.9%、平成35年78%となっていますが、関市では平成25年の面積シェア実績が12%であることから、県並みの78%という目標設定は不可能であると考えます。現状の12%からすれば現行目標の42%が妥当なところですが国、県の政策に沿った努力目標も踏まえ、現行の目標42%と県の見直し目標78%との平均の60%を達成できるよう平成35年の目標を60%とにします。

4. 基本構想中の第4 農業経営基盤強化促進事業に関する事項において「新たに農業経営を営もうとする青年等の育成・確保に関する事項」に関する記述を追加します。これは、青年等就農計画に関する事項でございます。

その他として農地保有合理化事業の廃止及び農地中間管理事業の実施に係る部分を変更します。

上記のほか、文言の修正など事務的な部分も変更します。

説明は、以上でございます。ご審議をよろしくお願いいたします。

○ 議長（佐藤善一君） 事務局の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

○ 23番（土屋尊史君） ここで説明されている青年とは、何歳でしょうか？全国農業会議では45歳までという規定があります。

○ 事務局長（玉田和久君） こちらも45歳です

○ 議長（佐藤善一君） その他に質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第7号農業経営基盤の強化の促進に関する基本的構想の変更について異議のない方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

それでは議案第7号農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想の変更について原案のとおり異議なし、適当であると回答いたします。

続きまして、議案第8号関市平賀第二土地区画整理組合設立に伴う事業計画について事務局からの説明を求めます。

○都市整備課課長補佐（山田達史君）お手元にごございます農地の取り扱いについての資料に基づいて説明させていただきます。

場所はお配りいたしましたA3の地区の右側、赤い線で囲んである部分になります。

本地区は関市役所より南東約2.9km、長良川鉄道越美南線関富岡駅の北側約500m、市立富岡小学校及び富岡保育所の南側に位置する、面積約7.0haの地区です。

地区北側には、県道の関金山線がとおり、南側には国道の418号線が走っております。西側には都市計画道路である東本郷鋳物師屋線、東側には東山西田原線といった都市計画道路が整備されているところです。

こういった道路の整備に伴いまして無秩序な市街化が急速に進行する恐れがあり、良好な市街地整備が急速に求められています。

このため、土地区画整理事業を実施することにより、公共施設の整備・改善を行い、宅地のスプロール化を防止するとともに、地域の魅力あふれる健全な市街地を形成することを目的とします。

この都市区画整理事業は昭和58年3月に計画決定がなされています。この時に計画されたところは平賀地区全体で49haと決定されています。

この平賀地区においては4つにわけて順次整理をしています。

なおここは第2地区で7.03haになります。

次に農地の現況について説明します。地図がありますが、施工前施工後の面積が記されています。

施工前は道路や水路の公共用地は762.41haで全体の約1.1%になっています。施工後には19029.4haで27%ほど公共用地が占めることになっています。

田畑（農地）については全体の90%あるわけですが、田は52438.66ha、畑は3988haです。宅地は4184.6haです。他に原野、雑種地、山林を合わせて62002.73haになります。施工後は36840.60haになります。保留地は14430haになります。

資料の一番最後に土地区画整理事業の設計図を添付しています。茶色の部分は道路、緑色で囲われているところは公園、青色で囲われているところは調整池、緑の線は緑道、水色の線は水路です。

以上、説明と代えさせていただきます。

○議長（佐藤善一君）事務局の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第8号関市平賀第二土地区画整理組合設立に伴う事業計画について異議のない方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

それでは議案第8号関市平賀第二土地区画整理組合設立に伴う事業計画について異議なし、適当であると回答いたします。

続きまして、報告第1号農地法第18条第6項の規定による届出について事務局からの説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 報告第1号農地法第18条第6項の規定による届出 賃貸者の合意解約の届出について、説明させていただきます。

報告第1号 農地法第18条第6項の規定による届出 賃貸者の合意解約の届出について、説明させていただきます。

今回3件の届出があります。

番号1の案件は賃借人が有限会社むげがわ農産です。

広見地内の田1筆、1220㎡です。

合意解約日は、平成26年8月1日、土地引き渡し日は、平成26年11月1日です。

番号2の案件は賃借人が有限会社むげがわ農産です。

武芸川町平地内の田1筆、1975㎡です。

合意解約日は、平成26年8月1日、土地引き渡し日は、平成26年11月1日です。

番号3の案件は賃借人が亀山美和です。

上白金地内の田1筆、231㎡です。

合意解約日は、平成26年8月1日、土地引き渡し日は、平成26年9月28日です。

○議長（佐藤善一君）以上をもちまして、議案の審議はすべて終了いたしました。

その他について事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 次回の総会は10月6日午前10時からの予定です。

また、9月の主な行事予定は、11日が転用申請等現地確認日、29日が農業会議答申日です。

○議長（佐藤善一君） これをもちまして閉会といたします。ご苦労様でございました。

午前11時30分 閉会

本日の会議の顛末を記録し、相違ないことを証するためここに署名する。

議 長 関市西神野 1 6 6 5 番地

㊦

5 番 関市上大野 1 1 3 番地

㊦

8 番 関市坂下町 4 7 番地

㊦